

【地域振興】

ゆるキャラ問題、どうして伝説の名将が甲子園に行けないの

四国の強豪・池畑高校野球部のマスコットキャラクター「とびは一ん」の人气が急上昇している。

「とびは一ん」は、池畑高校の久しぶりとなる全国大会出場を記念して、同校のOBたちが、**蔦文弥元監督**をモデルにつくったゆるキャラである。

愛嬌のある「へ」の字に曲がった唇と「の」の字に垂れた目元などが、「かわいい」と評判になり、初登場からわずか数日間で、たちまち全国の保育園児のアイドルとなったようだ。

わかば保育園の若葉みどり園長(53)

『子供たちは、お昼寝もしないで高校野球のテレビに夢中なんですよ。みんなして「とびは一ん」が見たいって大騒ぎです。「とびは一ん」は、いつになったら母校の応援に行くのですか?』

しかし、雑踏事故につながるおそれがあるなど安全上の配慮から、今のところ「とびは一ん」の姿を甲子園球場で見ることは誰にもできない。

このような現状をうけ、全国ゆるキャラ評議会の「くまどん」会長は、自身の体験をまじえて、次のような緊急声明を発表した。

『ボクも応援に行きたかったけど、ダメって言われたモン。けども、ボクには夢がある。それは、いつの日か、甲子園球場で、ゆるキャラと人間が、兄弟のように、分け隔てなく応援できるようになる夢だモン。』

教育評論家・小木直紀さん(67)

『酔って暴れるかもしれない人間は入れても、地元のチームを一生懸命に応援したいだけのゆるキャラは許されない。これでは、ゆるキャラがかわいそうよ。高校野球が教育の一環なら、考え直して頂きたいわ。』

先日サッカー界では、「JAPANES ONLY」の横断幕が大問題となったが、高校野球は「HUMAN ONLY」の方針に不満をもつ小さな子供たちの声なき声に耳を傾ける時期にきているのではないだろうか。 (文責・桐谷)